



<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
自分のペースで仕事ができる	1	②	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	②	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	②	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	②	3	4
同僚	1	②	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	②	3	4
同僚	1	②	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	②	3	4
同僚	1	②	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちがあはつらつとしている	1	②	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	③	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	③	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	②	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	②	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	③	4
何かが起こりそうな予感がした	1	2	③	4
周りに注意を払っていた	1	2	③	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	③	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	③	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	③	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	③	4
偶然に助けられた	1	2	③	4

**あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか**

<例>厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

**「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます  
(当てはまる番号に1つ〇)**

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	①⑥ 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	①⑦ 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 くつろげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- ・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- ・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
- ・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_

## 新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバリーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日： 年 月 日

職種：	経験年数：
年齢：	

### 「ヒヤリハット」したこと

いつ ( 8 ) 月 頃	どこ ( この現場 , 他 <sup>○</sup> の現場 )	どのような場所で ( )
どのような体験か(当てはまるものに1つ○してください)		
1 墜落しそうになった 2 <sup>○</sup> 転倒しそうになった 3 機械等に激突されそうになった 4 ものが落下してきた	5 ものが倒れかかってきた 6 <sup>○</sup> 自分からぶつかりそうになった 7 はさまれそうになった 8 切られそうになった	9 やけどしそうになった 10 感電しそうになった 11 交通事故になりそうだった 12 その他( )
「ヒヤリハット」の内容  どのような作業で？ サンダーを使用した後、切り取った鉄板をゴミ置場に運搬中目の前の仮設フェンスの単管にヘルメットがぶつかり転倒しそうになった  何をしようとしていた時？  どうなったか？		
体験の状況図 (図は別紙記載でも可)		
発生原因(考えられるもの全てに○してください)		
1 設備・機械に問題があった 2 <sup>○</sup> 工具・保護具に問題があった 3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった 4 作業方法に問題があった	5 連絡・連携ミスがあった 6 <sup>○</sup> 確認が不足していた 7 よく考えずに行動してしまった 8 考え事をしていた 9 <sup>○</sup> よく見えなかった	

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

← ( 1 ) 2 3 4 5 6 7 8 9 10 →

無休業災害 死亡災害

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

以下、当てはまる番号に1つ○してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

＜背後要因＞	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	( 1 )	2	3	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	( 1 )	2	3	4
一生懸命働かなければならなかった	( 1 )	2	3	4

＜あなたの状態＞	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	2	( 3 )	4
へとへとだ	1	2	( 3 )	4
だるい	1	( 2 )	3	4
気がはりつめている	1	2	( 3 )	4
不安だ	( 1 )	2	3	4
落ち着かない	( 1 )	2	3	4
ゆううつだ	( 1 )	2	3	4
何をやるのも面倒だ	1	( 2 )	3	4
気分が晴れない	( 1 )	2	3	4
食欲がない	( 1 )	2	3	4
よく眠れない	( 1 )	2	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
自分のペースで仕事ができ	1	2	③	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	②	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	①	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全(い)ない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	①	2	3	4
同僚	①	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	①	2	3	4
同僚	①	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	①	2	3	4
同僚	①	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちがあはつらつとしている	①	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	①	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	①	2	③	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全(い)なし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	①	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	①	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	①	2	3	4
何かが起こりそうな予感がした	①	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	③	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	①	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	③	4
安全帯などの保護具に助けられた	①	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	①	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	④

**あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか**

<例>厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

ヘルメットをかぶっていた為頭に損傷はなかったが、保護メガネを着用したままだった為前方が曇っていた

**「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立つと思われる活動についてうかがいます  
(当てはまる番号に1つ〇)**

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
⑦ 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 くつろげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。

・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。

・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。

・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名 連絡先